







カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	2023/11/2に『南信州いいむす21』登録。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	弊社の環境活動について随時HPを更新している。												12.6					
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	顧客に対して常に最新技術(再生可能エネルギー)機器・工法を提案している。							7.2						13				
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	社内書類の両面印刷、再生紙の使用、リサイクル品の使用を行っている。また、社用車入替時にはエコカーへの切替えを行っている。												12.2	13	14	15		
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄を禁止することは社内規則に定められている。																16	16.5
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	違法・不正競争行為を禁止することは社内規定に定められている。																	16
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	弊社も特許登録をしており、他社の権利などを侵害しないように確認・対応している。								8.2	8.3	9							
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報管理の社内ルールは社内規定で定められている。 2023/9/21付の就業規則更新内で規定。																	16
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社購入資材の原材料におけるサプライチェーンの把握により、取り扱っていないことを確認。																	16
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	ビジネスパートナーとコミュニケーションを語り、仕事上での社会的責任に確認を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	設計・施工マニュアルに則った計画・施工を行い、製品・サービスの安全性を確保している。			3.9									12.4					
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	段階・引渡前検査を行い、確実な品質・サービス提供を行っている。アフターフォロー体制も構築されており、情報共有もされている。												9					
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境負荷の少ない製品・システム・工法を提案・設計・販売・施工を行っている。						6						12	13	14	15		
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	環境負荷の少ない製品・システム・工法を提案・設計・販売・施工を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
																														
32	<input type="checkbox"/>	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	上下水道の水質・空気環境・熱源・防災等において、地域への影響を把握・改善している。 【予定】南信州環境メッセ2024に出展し、住民との対話を深める。				4									9			11	12			14	15			17		
33	<input type="checkbox"/>	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	飯田下伊那地区の小中学校に2年間CELA水(次亜塩素酸水)を無償提供した。特定施設には継続的に無償提供している。不要になった玩具・楽器・書籍等を収集し、整備後児童施設等に寄贈している。いいた人形劇フェスタ運営に参画している。				4													11					14	15			17
34	<input type="checkbox"/>	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	地元企業の製品が使用出来る場面では積極的に利用している。													8	9				11	12	13						
35	<input type="checkbox"/>	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化している。適時に経営理念・経営目標を社員に説明し共有している。													8	9											17	
36	<input type="checkbox"/>	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	経営トップが会議等でコンプライアンスの重要性を社員に説明している。 2023/9/21付就業規則で整備・規程・教育実施。																									16	
37	<input type="checkbox"/>	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	管理組織表が構築されており、責任・役割が明示されている。																									16	
38	<input type="checkbox"/>	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	深いコミュニケーションによって顧客要求事項を的確にとらえ理解し、極力その要求に応えるよう努力している。																								16	17	
39	<input type="checkbox"/>	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	以前のクレーム・事故例と多方面からのリスクの抽出・評価を行い、最善策で施工出来るように検討・実施を行っている。																									16	
40	<input type="checkbox"/>	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	環境に優しい製品(提案・設計・販売・施工)の提供、安全な労働環境の確保を心掛けている。また、積極的な地域活動への参加を心掛けている。																									16	
41	<input type="checkbox"/>	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】今後様子を見ながら事業継続計画(BCP)の策定をして行きたいが、手付かず。															9				11			13 13.1			16	
42	<input type="checkbox"/>	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	将来的に必要な管理・技術者を確保するために、継続的な人材採用(各種学校・ハローワーク等への働きかけ)と在籍社員への教育・育成を行っている。														8	9										17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
For the Future of Children(FFC活動)	FFC活動と称し、不要になった楽器・文房具・玩具・書籍等の寄贈を受けて、それを社内で整備・清掃して学校・施設・団体・個人等に寄贈し再利用して頂く活動を行っている。	1			4														16

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)